

絆

参議院議員

大島九州男

KUSUO-O.NET

Qレポート
一票一心

Vol.3



2007. 11月号



この委員会の録画模様はインターネットで視聴できます
なお公開は次期国会召集の前日までとなっています
<視聴の仕方>
①インターネットで参議院のホームページを開く
(「参議院」で検索するか、http://www.sangiin.go.jp)
②画面右側の「審議中継」をクリック
③画面上部の「ビデオライブラリ」をクリック
④会議検索の項目をクリック
⑤カレンダーから10/30をクリック
⑥文教科学委員会の欄右端の「参照」をクリック
⑦大島九州男の欄右端にある「動画形式」からご自身の
ネット環境によって、いずれかをお選びください

参議院文教科学委員会での初質問

大島九州男参議は、10月30日に文教科学委員会にて初めての質問を行いました。

まず、平和教育の大切さという観点から沖縄教科書問題における改訂時の公平性の堅持を確認。現在、教育再生会議で議論されている教育バウチャー制度の理念と効果を質問。学力の地域間格差是正の為の提案を行いました。

そして、現在の食育のあり方に疑問を投げかけ、食を通じて道徳や倫理感、感謝の気持ちなど、「心の教育」の重要性を説明しました。

また、柔道整復師の大学での授業内容・国家試験の現状と医療の充実の観点から、レントゲン操作が出来ない矛盾を質すとともに、外国人留学生の奨学金制度については、彼らがもつと日本の伝統・文化や心に触れ、将来自国と日本との架け橋となれる様なシステム作りを要望しました。

今後も、今の子供たち・将来の大人たちに単なる学力・能力アップだけではなく「生きる力」を身に付けさせるために、本当に必要な教育施策が策定されるよう、真の教育再生の実現を目指して頑張ります。

シリーズ 大島九州男は、本会議の他は何をしているの？



選挙公約の1つである「接骨医」の確立を目指し、他議員にも働きかけ連携をはかっています。

この日は、柔道整復師協議会の方々からの要請行動を受け、まず党内での認識を深める為に早急に勉強会を立ち上げることが決定しました。



民主党議員 柔道整復師協議会



選挙後初めて、地元での本格的な政治活動。市議員時代から私を育て支えて下さっている後援会の方々の方々の計画により直方駅前・事務所前など4箇所で街頭活動を行いました。

突然の行動にもかかわらず、多くの皆様にお集まりいただき心より感謝。テロ特措法・年金問題など今国会で焦点になっている案件について報告をさせていただきました。

あなたも民主党に参加しませんか？
民主党の活動と運営を支え、ともに行動する18歳以上の「党員・サポーター」を募集しています。
年会費：党員…六千円
サポーター…二千円
詳しくは事務所までご連絡下さい

大島九州男事務所
国会事務所 〇三三五〇八八三二〇
東京都千代田区永田町二一―
参議院議員会館三二〇号室
福岡事務所 〇九四九二二一〇五七四
福岡県直方市知古七六四―

高校日本史の教科書検定意見で沖縄戦の集団自決に日本軍の強制があったとする記述が削除された問題で、検定意見の撤回を求める県民大会に、大島九州男も参加しました。

大島九州男は、文教科学委員会において、真実が公平に反映する教科書改訂になるよう渡海文部科学大臣に要望をしました。

臨時国会
ここがポイント3
民主党はなぜ自衛隊の給油活動継続に反対なのか
銃剣をもって人を治めることはできない
○現在の給油活動は憲法違反
○国連の平和活動に積極的参加

憲法第9条は、国権の発動たる武力の行使を禁じています。国際紛争を解決する手段として、武力の行使を認めていません。
また給油活動は、後方支援であつて、戦闘行為ではないというのが政府の見解ですが、後方支援、兵站線は、戦争の行方を決する最大の要素です。後方支援は武力の行使と一体というのが世界の常識なのです。
国連活動への参加と同時に、テロを根本的になくすために、テロの原因を取り除く民生支援を全面的に展開すべきだと考えています。つまり、貧困を克服し、生活を安定させることです。銃剣をもって人を治めることはできません。『銃をスコップに変えて支援をする』これこそが迂遠なようでも、テロとの本当の戦いだと確信しています。

〈大島九州男が小沢代表に質問〉
9月3日の参議院議員研修会において、小沢代表に直接質問をしました「民主党のテロ特措法に対する考えは、アフガニスタンの人達が、生活できるように『銃をスコップに変えて、人道支援で貢献すること』ですね。」との私の問いに対し、代表は『その通り。今は生活支援こそが必要だ』と応えて頂きました。

9月3日から民主党は、終始一貫して、民生支援を軸に法案作成に入っています。